

フランスの社会と文化Ⅳ

科目ナンバリング EUS-205
選択 2単位

鵜飼 敦子

1. 授業の概要(ねらい)

フランス語圏の多様な文化と芸術について19世紀から現代まで広く紹介します。美術、映画、ファッション、音楽など様々なトピックについて学び、比較・関係史、異文化交流史について考えます。

2. 授業の到達目標

19世紀から現代までのフランスを中心とする社会と文化について、とりわけ博覧会の展示をたどることにより、その多様性を確認します。グループワークをとりいれながら、前期では、美術工芸史の動きと万国博覧会の展示や旅行記を分析し、ジャポニスムについて学びます。後期では、エミール・ガレやルネ・ラリックといったフランスの芸術家をとりあげながら、アール・ヌーヴォーやアール・デコといったデザイン史について学び、日本とフランス工芸のかかわりについて論じます。

3. 成績評価の方法および基準

コメントシート:30%

出席点:30%

試験:40%

4. 教科書・参考文献

教科書

指定なし。

参考文献

参考文献については、授業内で適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

関係するトピックの美術館、博物館の展示を各自で訪れる時間をつくり、見学して予習することが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

毎回、コメントシートを書いてもらいます。学習に支障をきたすので、遅刻には気をつけること。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業ガイダンスー講義の内容説明と講義目標の確認、文献紹介
- 【第2回】 フランスの美術①ジャポニスムと日本美術コレクション
- 【第3回】 フランスの美術②エミール・ガレのガラス作品
- 【第4回】 フランスの美術③ エミール・ガレと「東洋」
- 【第5回】 フランスの美術④ルネ・ラリックのガラス作品
- 【第6回】 フランスの美術⑤ルネ・ラリックのデザインと「ニッポン」
- 【第7回】 フランスの美術⑥アール・ヌーヴォーとアール・デコ
- 【第8回】 フランスの現代アート
- 【第9回】 映画とフランス①映画の誕生と映画史の概要
- 【第10回】 映画とフランス②エキゾチスムと幻想の「ニッポン」
- 【第11回】 映画とフランス③ 伝統衣装と「キモノ」
- 【第12回】 フランスのファッション①モード史の変遷
- 【第13回】 フランスのファッション②日本人デザイナーの活躍
- 【第14回】 フランスのファッション③パリコレと「ボロ」文化
- 【第15回】 フランスの音楽、後期のまとめと試験